



# やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会議員  
日本共産党

2023.5.31  
木佐木ただまさ news  
発行：党横浜北東地区委員会  
横浜市鶴見区潮田 3-147-6  
TEL：045-511-1021  
Profile  
▶1984年山口県出身  
▶鶴見区馬場在住  
▶神奈川大学法学部卒  
▶よこはま健康友の会会長  
▶横浜東民商顧問

## 5月補正予算

### 大山団長討論に立つ！

5/23 物価高騰対策の国からの支出金を神奈川県としてどのようなものを使っていくのかを決める補正予算が採決されました。

共産党県議団は、この補正予算について全体としては賛成するものの不十分な点の拡充を要望する賛成討論を大山奈々子団長が行いました。討論の要旨は以下の通りです。

「今回提案されている補正予算約167億円のうち52億円が計上されている県内消費喚起対策事業費かながわPayは、地域の消費喚起に一定の効果が見込まれるものですが、この恩恵が及ばないどころか排除される事業者や県民も多くいます。明日の暮らしも見通せない県民の生活支援や営業支援は一層焦眉の課題と言えます。

医療機関や介護施設など、まだまだコロナへの対応で人手もお金も必要となるところへの支援を、国に対して要望するとともに県として支援していく覚悟がとわれているのではないのでしょうか。

国からの交付金が少ないということはあったとしても、県独自の財源措置をとって支援を厚くしていくことが求められると思います。物価高騰というトンネルの出口が見えない中で、単発の支援で終わることなく支援制度の創設や拡充など恒常的な対応を要望します。

とりわけ生活困窮世帯へは、給付金の支給が予定されているとのことですが、まだ十分ではありません。国でも生活保護を利用する子育て世帯の保護費の引き上げや全世帯への加算の必要性が検討されています。現下の苦しい生活状況に寄り添い続ける県の姿勢が求められます。

また、私学振興では外国人学校などの各種学校が支援の対象から外される取り扱いがなされています。多文化共生を掲げる本県において各種学校で学ぶ子どもたちの教育環境を置き去りにすることがあってはなりません。対象の拡大を要望します。」

### 県議団長対談が実現！

5/26 共産党山口県議団長の木佐木大助県議が上京し、大山奈々子団長と対談を行いました。共に米軍基地が所在し、防衛力強化の名の下でどのような影響や懸念があるのか、それぞれの議会でジェンダー平等を進めるためにどう取り組んでいるのか、野党共闘の現在地点などをざっくばらんに話し合いました。

この模様は youtube チャンネル「共産党どうでしょう」で公開する予定です。乞うご期待！



何かに爆笑する大山団長



撮影に必死で話の中身を聞いていない木佐木（右）